

## 事業評価書

補助事業名	目達原飛行場関連公共用施設（消防に関する施設：小型動力ポンプ及び積載車）整備事業						
補助事業者名	吉野ヶ里町長						
実施場所	吉野ヶ里町大字松隈ほか						
補助事業の成果の目標	本町、各地区の消防団(全9分団23部)では迅速な消火活動により町民の生命、財産を守るべく日々消防訓練に励んでいる。町内で火災が発生した際には素早い初期消火が必要であり、小型動力ポンプや積載車は必要不可欠である。そのため経年劣化の激しい20年以上経過するポンプや車両については随時、更新していくことで消防設備の維持を図っているところである。本町の消防車は現在22台(充足率100%)あり、今後も迅速な消火を行うため本年度にポンプ1台及び車両2台の更新を行い、ポンプの水漏れ等の不具合の解消及び台数(充足率)の維持を図ることを目標とする。						
補助事業の内容	物件購入 小型動力ポンプ 1台、軽積載車 1台、普通積載車 1台						
補助事業の始期及び終期	令和元年度						
事業費及び交付金額		元年度					計
	事業費	円 9,801,000	円	円	円	円	円 9,801,000
	交付金額	9,000,000					9,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>これまでに定期点検及び訓練を行い、その際に団員へ聞き取り調査を行ったところ、更新車両について、不具合もなく運転しやすい、ポンプは操作性が格段に向上したとの声があり、団の消防力の維持・向上が図られた。</p> <p>本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金により実施された旨を町の広報誌に掲載した。また、積載車側面及びポンプ外面にも記載することによって、地域住民へ周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

## 事業評価書

補助事業名	目達原飛行場関連特定事業 (教育、スポーツ及び文化に関する事業:学力向上支援教員設置事業基金)							
補助事業者名	吉野ヶ里町長							
実施場所	吉野ヶ里町							
補助事業の成果の目標	<p>吉野ヶ里町学力向上支援員設置事業は、生徒の学力に応じ、教師と協力し、生徒に応じたきめ細やかな学習指導及び相談を充実させ、基礎的・基本的な知識や技能の習得を通じて学力の向上を図るために創設された。</p> <p>このため、吉野ヶ里町学力向上支援員設置事業基金を設置し、支援教員の雇用費に充て、生徒一人一人の学力向上を図り、教育促進に寄与する事を目標とする。</p>							
補助事業の内容	学力向上支援員教員設置							
補助事業の始期及び終期	平成25年度から令和3年度							
事業費及び交付金額		平成 27年度まで	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	計	
	事業費	円 8,534,118	円 3,960,000	円 4,320,000	円 4,320,000	円 4,320,000	円 25,454,118	
	基金 造成 成額	交付金額	14,010,000	0	3,000,000	4,000,000	0	21,010,000
		市町村費	1,600,000	1,166,000	1,800,000	800,000	3,800,000	9,166,000
		運用益	28,492	10,154	5,283	3,973	2,580	50,482
		計	15,638,492	1,176,154	4,805,283	4,803,973	3,802,580	30,226,482
	基金処分額	8,534,118	3,960,000	4,320,000	4,320,000	4,320,000	25,454,118	
	基金残額	7,104,374	4,320,528	4,805,811	5,289,784	4,772,364		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>佐賀県内の中学1、2年生を対象に実施されている佐賀県小・中学校学習状況調査の結果(成績)において、支援教員を配置している数学と英語のうち、数学では平成31年4月と令和元年12月の実施結果を比較すると1年生、2年生どちらも対県平均比が上昇しており、1年生の12月実施については県平均を上回る結果となっている。</p> <p>英語については12月のみ調査が行われるため、平成30年度1年生と令和元年度2年生を比較。対県平均比は上昇しており、令和元年度は県平均を上回る結果となっている。</p> <p>なお、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業で実施されている旨を、町ホームページに掲載し、周知を図った。</p>							
事業の改善措置及び今後の対応	無							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							

## 事業評価書

補助事業名	目達原飛行場関連特定事業 (医療に関する事業：子どもの医療費の助成事業基金)							
補助事業者名	吉野ヶ里町長							
実施場所	吉野ヶ里町							
補助事業の成果の目標	吉野ヶ里町子どもの医療費の助成制度は、子どもの医療費の一部を助成することにより、その疾病の早期発見及び治療を促進し、もって子どもの保健の向上及び福祉の向上のため創設された。 このため、吉野ヶ里町子どもの医療費の助成基金を設置し、保護者負担への助成金に充て、子育て世帯の負担軽減を図り、子育て支援に寄与することを目標とする。							
補助事業の内容	小学生から中学生までの子どもに係る医療費の一部を助成する。							
補助事業の始期及び終期	平成23年度～令和3年度まで							
事業費及び交付金額		平成27 年度まで	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	計	
	事業費	円 48,557,370	円 14,224,173	円 21,721,928	円 20,412,000	円 22,941,000	円 127,856,471	
	基金 造成 額	交付金額	58,011,000	18,200,000	9,934,000	13,799,000	6,369,000	106,313,000
		市町村費等	7,200,000	1,000,000	13,066,000	11,201,000	16,631,000	49,098,000
		運用益	68,560	23,911	26,560	19,040	16,176	154,247
		計	65,279,560	19,223,911	23,026,560	25,019,040	23,016,176	155,565,247
	基金処分額	48,557,370	14,224,173	21,721,928	20,412,000	22,941,000	127,856,471	
基金残額	16,722,190	21,721,928	23,026,560	27,633,600	27,708,776			
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	助成受給世帯にアンケートを実施したところ、「医療費の負担が減り助かっている。事業を継続してほしい」等の意見が寄せられた。また、令和元年度の申請件数及び実際の助成件数は15,064件となっており、子育て世帯の負担を軽減することによる子育て支援に寄与している。 また、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業により実施している旨の地域住民への周知については、町ホームページへの掲載、転入手続き時のアナウンス及びチラシ配布を行った。							
事業の改善措置及び今後の対応	無							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							